

平成20年度の地域密着型金融推進計画

アルプス中央信用金庫

1. あるしんの基本理念

地域金融機関の“あるしん”は、地域に根ざし地域とともに歩む信用金庫として、豊かで活力のある地域社会を実現することが、創業の精神であり、恒久の目標であると考えています。

この歴史ある社会的役割を受け継ぎ、使命を果たすため、役職員が心ひとつにして邁進いたします。

「地域社会の発展と繁栄なくして“あるしん”の繁栄もなし」。これを経営の基本に据え、原点を忘れない業務推進、経営管理を行なってまいります。

基本理念を実現するため、三つの戦略目標を掲げました。

- 1、「信用」「真実」「親切」の3Sを常に意識しながら行動します。
- 2、地域経済繁栄に力強く貢献する健全な信用金庫をつくります。
- 3、働く者の生活の安定と朗らかに働ける職場をつくります。

2. 地域密着型金融の恒久的な取組みへ向けて

当金庫では、先の4年間（平成15年度～平成18年度）二次に亘る「リレーションシップバンキングの機能強化に関するアクションプログラム」、それに続く19年度「地域密着型金融推進」に基づき、基本理念に沿った態勢整備に努めてまいりました。

今後とも、引き続き中小企業の再生と地域経済の活性化のため、さらに強力に推し進めてまいります。

我々は、信用金庫の理念や役割を踏まえ、「地域社会との絆」をよりどころに、使命共同体の中核としての機能を十分に発揮するよう引き続き努めてまいります。

平成20年度の地域密着型金融推進計画においては、

- 、ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化
- 、事業価値を見極める融資をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底
- 、地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

の3つの活動を軸に、より一層地域企業に対する経営相談・支援機能を強化し、積極的に地域経済への貢献・活性化に努めてまいります。